

2009.2.22

(財)市川市文化振興財団主催公演

オーケストラと歌おう  
春のうたごえ 2009

VERDI REQUIEM

2009年2月22日 日

市川市文化会館 大ホール

13:30開場 / 14:00開演





## ご 挨拶

「春のうたごえ 2009」今年はヴェルディのレクイエムを皆さまにお聞きいただきます。160名からなる市民合唱団と創設58年を有する市川交響楽団によるコンサートです。今年で7回目となる通称「春うた」は昨年5月に団員を募集し6月に結団式を行い、本日まで39回の練習を重ねてまいりました。指揮者の森口真司さんの情熱と合唱指導の田中安茂さん始めヴォイストレーナーの皆さんピアニストの方などのご尽力により本日ここに開催するはこびとなりました。

力強く歌い上げるレクイエム、音楽を愛する人達が心をひとつにして挑む「春のうたごえ」です。どうぞ最後までお楽しみください。

(財)市川市文化振興財団

館長 小原 みさ子

---

### ヴェルディ「レクイエム」

ヴェルディは1813年に生まれたイタリアを代表するオペラ作曲家ですが、29歳のときスカラ座で初演した「ナブッコ」で大成功を収めました。その中の合唱曲「行け、思いよ、黄金の翼にのって」はイタリアの祖国統一を願う人々の気持ちを鼓舞して、愛唱されるようになりました。その後「エルナニ」「マクベス」「リゴレット」「トロバトーレ」「トラヴィアータ」などドラマ性の強いオペラを次々に発表し、1871年スエズ運河開通記念に建てられた歌劇場柿落としのために依頼された「アイダ」の第2幕第2場の凱行進曲は、オペラ全作品中、最も有名な曲とされています。

大規模な情景や心理描写に優れるヴェルディの才能は、このレクイエム作曲にも発揮されています。死者のためのミサ曲であるレクイエムは、最後の審判の日に天国に死者が迎え入れられるように祈って歌うものです。第一曲「永遠の安息を与え給え、主よあわれみ給え」の最初の言葉が「安息」を意味する「レクイエム」と歌われるところに題名が由来します。

ヴェルディがレクイエム作曲を思い立ったのは、1868年にイタリア歌劇の巨匠ロッシーニの訃報に際してでした。その一周忌にレクイエムを捧げようと11人の作曲家に呼びかけましたが、合唱団や交響楽団の足並みが揃わず上演にこぎつけるに至りませんでした。その5年後心から尊敬する詩人マンゾーニの悲報がヴェルディのもとに届きました。かつてロッシーニのために作るはずだったレクイエムを、今度は1人で完成することを決心し、1873年サン・マルコ寺院における詩人の一周忌で、自らの指揮によって初演を果たしました。オペラ作曲家ヴェルディならではの管弦楽と声楽による壮大な構想と表現力にあふれるレクイエムは、劇的な宗教ドラマとなって会場は感動の渦に包まれました。

音楽総合プロデューサー 小坂裕子



# VERDI REQUIEM

## 1. Requiem

永遠の安息を与え給え

…………… レクイエム・エト・キリエ (入祭文)

## 2. Dies irae

怒りの日…………… デイエス・イレ (続誦)

1) 怒りの日…………… デイエス・イレ

2) 不思議なラッパの音 …………… トゥーバ・ミルム

3) 記されし書は…………… リベル・スクリプトゥス

4) あわれなわたし…………… クイド・スム・ミゼル

5) みいつの大王…………… レックス・トゥレメンデ

6) 思い出させ給え…………… レコルダーレ

7) わたしは嘆く…………… インジェミスコ

8) 審判をうけた呪われた者は …………… コンフタティス

9) 涙の日…………… ラクリモサ

## 3. Offertorio

主イエズスよ…………… ドミネ・イエズ (奉献文オフエルトリウム)

## 4. Sanctus

聖なるかな…………… サンクトゥス (三聖唱)

## 5. Agnus dei

神の小羊…………… アニユス・デイ (神羊唱)

## 6. Lux aeterna

永遠の光を…………… ルックス・エテルナ (聖体拝領唱)

## 7. Libera me

われを許し給え…………… リベラ・メ (赦禱唱)



## 指揮者

もりぐち しんじ  
**森口真司**

Moriguchi Shinji  
Conductor



大阪府出身。京都大学文学部を経て1995年東京藝術大学指揮科大学院修了。指揮法を田中良和、遠藤雅古、フランシス・トラヴィス、若杉弘、岩城宏之の各氏に師事する。大学院修了後すぐプラハの春国際音楽コンクール指揮部門に於いて第3位受賞(1位なし)、同時にプラハの春国際音楽祭に出演しプラハ放送交響楽団を指揮、その模様は東京FMで放送された。以降、東京フィルハーモニー交響楽団、東京都交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、札幌交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団など全国各地のオーケストラに客演。2002年より東京混声合唱団コンダクター・イン・レジデンスを務める。

また岩城宏之氏に認められ、2003年から2年間オーケストラ・アンサンブル金沢の専属指揮者を務めた。在任中は定期公演、オーストリア・ベルギー公演、七尾市定期公演、邦楽とのジョイントコンサート(石川県立音楽堂委嘱作品、多田栄一作曲「時の果てまで」初演)、テレビ金沢開局15周年記念演奏会等、数多くの重要な演奏会で成功を収め、堀米ゆず子、リディア・バイチュ(ヴァイオリン)、ルドヴィート・カンタ(チェロ)、崔岩光(ソプラノ)、森山良子、加藤登紀子、山本邦山(尺八 人間国宝)など多彩なソリストと共演した。

オペラ指揮者としてこれまで30を超す作品を100回近く指揮し、最近では大田区民オペラ・ベッリーニ「ノルマ」(タイトルロール林康子氏)、モーツァルト劇場・オッフエンバック「りんご娘」(日本初演)「シュフルーリ氏の音楽会」が各方面から絶賛されるなど充実した活動が続いている。また東京二期会を中心に若杉弘、飯守泰次郎、佐藤功太郎、クラウス・ペーター・フロール、エド・デ・ワールト、ペーター・コンヴィチュニー、宮本亜門ら著名な指揮者・演出家のもと、ヤナーチェク「イエヌーフア」ワーグナー「さまよえるオランダ人」モーツァルト「皇帝ティトゥスの慈悲」「魔笛」リヒャルト・シュトラウス「ダナエの愛」(日本初演)「ダフネ」(日本初演)チャイコフスキー「エフゲニー・オネーギン」など数多くの公演に合唱指揮者として参加、その手腕は極めて高く評価されている。

東京藝術大学、二期会オペラ研修所講師等を経て現在大分県立芸術文化短期大学准教授として後進の指導にもあたっている。

ソプラノ

まつばら ゆ な  
**松原 有 奈**

Matsubara Yuna  
Soprano



神奈川県出身。国立音楽大学声楽科卒業、同大学大学院オペラコース修了。

大学院修了後、イタリア・ミラノにて研鑽を積む。

第64回日本音楽コンクール声楽部門第2位入賞。

「椿姫」ヴィオレッタ、「リゴレット」ジルダ、「愛の妙薬」アディーナ、「カルメン」ミカエラ、「ヘンゼルとグレーテル」グレーテル、「こうもり」ロザリンデとアデーレ等のオペラ出演のほか、NHK「FMリサイタル」、「名曲リサイタル」や日本各地でのトークを交えてのコンサート等で活躍している。

又、モーツァルト、フォーレ、ヴェルディの「レクイエム」をはじめ、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト「ハ短調ミサ曲」「戴冠ミサ曲」、バッハ「ヨハネ受難曲」、オルフ「カルミナ・ブラーナ」等、宗教曲、合唱曲のソリストとしての出演も多く、いずれも高い評価を得ている。

2002年二期会創立50周年記念公演「フィガロの結婚」（宮本亜門演出）スザンナ役を数多くの候補者の中からオーディションによって射止め、清冽な歌唱とチャーミングな舞台姿で大喝采を浴びた。2003年7月には二期会同公演「ばらの騎士」に帽子屋役で出演。

また2004年2月、二期会公演「エジプトのヘレナ」にアイトラ役で出演し存在の大きさを確実なものとした。2005年4月、新国立劇場主催公演「フィガロの結婚」にスザンナ役で抜擢され高い評価を得た。また2006年11月「コシ・ファン・トゥッテ」（宮本亜門演出・芸術祭大賞受賞）のデスピーーナでも大好評を博している。

最近では、軽妙な語り口とともにオペラの魅力を紹介する「オペラで奏でる日本と世界の名曲」などのコンサートでも好評を博している。二期会会員



メゾ・ソプラノ

たに ぐち むつ み  
谷 口 睦 美

Taniguchi Mutsumi  
Mezzo soprano



高知県出身。東京藝術大学卒業。同大学院独唱科修了。

同大学卒業時、同声会コンサートに出演。

第47期二期会マスタークラス修了。修了時優秀賞を受賞。

二期会プロフェッショナルコース修了。

オペラでは「カルメン」タイトル・ロール、「ノルマ」アダルジーザ、「ドン・カルロ」エボリ公女、「コシ・ファン・トゥッテ」ドラベッラ、「フィガロの結婚」マルチェリーナ等を歌う。コンサートではベートーヴェン「第九」ヴェルディ「レクイエム」、ヘンデル「メサイア」等のソリストを務める。

2006年4月、二期会オペラデビューとなったペーター・コンヴィチュニー演出「皇帝ティトの慈悲」セスト役で大成功を収め、彗星のごとく現れた逸材に数多く賞賛の声が寄せられた。

2007年9月に産経新聞社主催「オペラの華」コンサート・シリーズの《カルメン・ハイライト》においてタイトルロールで出演したほか、同年12月には新国立劇場公演「はじめてのオペラ〜カルメン〜」に主役で抜擢され絶賛を博した。

最近では2008年6月、東京二期会「ナクソス島のアリアドネ」作曲家役で出演し、清新さ溢れる歌唱と演技で観客を魅了したばかり。

コンサートでは2008年3月、東京交響楽団モーツァルト「C-moll ミサ」に、「皇帝ティトの慈悲」を指揮したユベール・スダーン氏により抜擢され、期待に応える歌唱を披露。同氏とは09年3月にも東京交響楽団定期演奏会において、シューベルトの付随音楽「キプロス島の女王ロザムンデ」での共演が決まっている。またテレビ朝日「題名のない音楽会21」にも出演し、艶やかな「サムソンとデリラ」デリラの名唱が視聴者からの反響を呼ぶなど、華のある舞台姿と存在感に注目が集まっている。

2008年11月の二期会ゴールドデンコンサートにおける初めての本格的なりサイトルでも成功をおさめた。2009年出光音楽賞受賞。

将来、二期会のみならず日本を代表するメゾ・ソプラノに成長するべき、久々の大型新人誕生との呼び声も高く、国内外から大きな期待が寄せられている。二期会会員



## テノール

# しだ たけひろ 志田 雄 啓

Shida Takehiro  
Tenor



東京神田出身。東京藝大卒。同大学院オペラ科修士課程修了。同大学院オペラ科博士課程を修了し、博士号（音楽）を取得。第74回日本音楽コンクール声楽部門（オペラ）第1位。松下賞。このコンクールは、若手音楽家の登竜門として日本で最も古く権威のあるコンクールで、テノールの受賞は大変珍しく26年ぶりの快挙となった。平成20年度五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。

オペラでは「コシ・ファン・トゥッテ」のフェランド、「ドン・ジョヴァンニ」のドン・オッタービオ、「魔笛」のタミーノ、「カルメン」のホセ、「ラ・ボエーム」のロドルフォ、「トスカ」のカヴァラドッシ、「椿姫」のアルフレード、「2人のフォスカリ」のヤーコポ、「カヴァレリア・ルスティカーナ」のトゥリッドゥ、「シモン・ボッカネグラ」のガブリエーレ、「イドメネオ」のタイトルロールを演じる。1998年ミュンヘンでおこなわれた現代音楽祭にて、細川俊夫作曲、鈴木忠志演出の「リアの物語」に出演。また、2005年日生劇場主催の「アラジンと魔法のランプ」のアラジン役等にて出演した。また、山田耕筰作曲オペラ「黒船」にて新国立劇場デビュー。

コンサートではモーツァルトの戴冠ミサ、レクイエム、ハ短調ミサ、ヘンデルのメサイア、ベートーベン交響曲第9番、合唱幻想曲、ヴェルディのレクイエム、ショスタコーヴィッチの森の歌、ヤナーチェクのグラゴルミサのテノールソロをつとめる。

近年オーケストラとの共演も増え、今まで東フィル、日本フィル、読響、東京交響楽団、神奈川フィル、東京ニューシティー、名古屋フィル、アンサンブル金沢、セントラル愛知、浜松フィル、小澤征爾音楽塾オーケストラなどと共演した。指揮者では、大野和士、小林研一郎、井上道義、高関健、現田茂夫、大町陽一郎、若杉弘、尾高忠明の各氏と共演した。数多くのオペラ、コンサートにて活躍を続けている。

また、研究活動として日本の伝統的文化を根本精神においたオペラの創作にも大変力を注いでいる。2002年にはヴェルディのマクベスを、舞方を能役者と日本舞踊の役者に、謡方をオペラの役者に担当させ、1つの役を邦楽の舞と洋楽のオペラの2人によって担当させるという斬新な演出で好評を博し、続く2003年は、マクベス、2007年には「王女メデシア」の、企画、演出、歌、台本（日本語）、を手がけ、映像、建築、漆、鍛金、油絵、先端藝術、楽理、邦楽、指揮、打楽器、オペラ等各科の芸大生と共に舞台芸術の新たな可能性を示唆するにいたった。

故正田生次郎、高橋大海、鈴木寛一、直野資の各師に師事。現在、東京藝術大学非常勤講師、聖徳大学大学院音楽文化研究科講師、日本声楽アカデミー会員

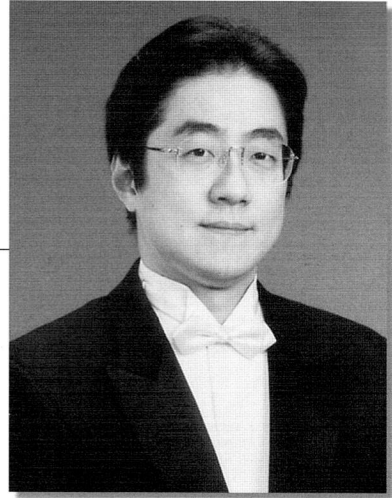




バ ス

くろ き じゅん  
**黒木 純**

Kuroki Jun  
Bass



宮崎県出身。大分県立芸術（現・文化）短期大学及び東京藝術大学卒業。同大学オペラ科修士課程修了。第29回イタリア声楽コンクール入選。藝大オペラ「ラ・ボエーム」のアルチンドーロでデビュー、その後「ウインザーの陽気な女房たち」のファルスタッフ、「フィガロの結婚」のバルトロで同大学オペラに出演。その後オペラでは、「魔笛」「椿姫」「ラ・ボエーム」「リゴレット」「トロヴァトーレ」「仮面舞踏会」「蝶々夫人」「トスカ」「コシ・ファン・トゥッテ」「ドン・ジョヴァンニ」「シモン・ボッカネグラ」「ドン・カルロ」等を演じている。東京では、新国立劇場小劇場シリーズにおけるオルフ「賢い女」の浮浪者、ガッツァニーガ「ドン・ジョヴァンニ」のパスクワリエットをはじめ、東京オペラプロデュース、ロッシェニ協会、モーツァルト劇場、日本オペラ協会のオペラに出演した。地方でも横浜シティ・オペラ、千葉市民オペラ、広島オペラアンサンブル、都城シティ・オペラ、江東オペラ、沖縄グルッポ・ムジチーニの諸団体オペラ公演に出演している。

2005年3月、東京二期会「魔笛」の存在感溢るザラストロ役でデビューし絶賛を博し（NHK放映）、2007年7月再演にも出演。2005年11月「さまよえるオランダ人」ゲーラント役、2006年2月「ラ・ボエーム」コッリーネ役でも好評を博す。繊細な性格描写と品格に富む表現力を持ち、今後益々の活躍が期待されている。

コンサートでは、ベートーヴェン「第九交響曲」、モーツァルトの「レクイエム」「戴冠ミサ」、フォーレの「レクイエム」、ヴェルディの「レクイエム」、ドボルザークの「スタバト・マーテル」、メンデルスゾーンの「エリア」「聖パウロス」、ハイドンの「天地創造」、ヘンデルの「メサイア」、バッハの「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」等を歌う。

2004年1月には、ウイーン楽友協会大ホールでモーツァルトの「レクイエム」ソロを歌い好評を博す。日本声楽アカデミー会員、二期会会員





# 市川交響楽団



昭和26年（1951）に初代理事長村上正治先生が「クラシック音楽の喜びをより多くの人に伝えたい」という信念のもと創立され、アマチュアとしては全国有数の伝統を持つオーケストラ。通称「市響」（いちきょう）。

千葉県市川市を本拠地に演奏活動を行い、平成23年（2011）には創立60周年を迎える。メンバーは現在100余名で年齢構成は20代から70代までの幅広い層にわたり、職業も会社員、教員、主婦など多彩。地元市川市での演奏会を中心に全国各地での文化行事やオーケストラフェスティバル等にも多数の市響メンバーが参加し演奏を行っている。

現在は常任指揮者を持たず、定期演奏会等には著名な指揮者、音楽家との共演を数多く経験しているほか、特に地元ゆかりの音楽家との共演にも力を注ぎ、地域の音楽文化の振興に多大な貢献を行っている。

市川交響楽団は市川混声合唱団、市川交響吹奏楽団、行徳混声合唱団、市響ジュニアオーケストラの各団体とで構成する「市川交響楽団協会」の中核として“クラシック音楽をより多くの市民に楽しんでもらおう”をモットーに創立以来のすべての主催演奏会を入場無料で行い、常に積極的な活動を展開している。

平成21年2月にはこれまでの功績と将来にわたっての活動について、市川市民の推薦により選考された「第1回市川市民芸術文化奨励賞」を受賞した。日本アマチュアオーケストラ連盟正会員。

市響ホームページ <http://www33.ocn.ne.jp/~ichikyo/>

## 【コンサートマスター】

立田 祥子

## 【第1 ヴァイオリン】

石崎 俊信  
石本 恵理  
上田 佳津子  
大橋 一郎  
大笠 松秀臣  
嶋宮 史門  
鈴木 薫絵  
仁井 理絵  
秦 一宜  
望 月 聖仁

## 【第2 ヴァイオリン】

伊藤 枝里子  
大村 光子  
鎌田 真貴  
佐分利 幸江  
滝澤 葉子  
富田 八江子  
永田 匡  
久田 しげ子  
溝田 範子  
南 達也  
村上 葉子

## 【ヴィオラ】

内田 綾美  
大橋 かおる  
加藤 歩  
鈴木 亜矢子  
高野 重樹  
奈良 弘子  
原 口博司  
若 林 繁

## 【チェロ】

岩田 理人  
倉澤 倫子  
小松 高明  
中村 公一  
野中 能久  
福原 耕二

## 【コントラバス】

荒木 夏奈  
上村 啓介  
神代 順子  
小林 真弓  
花井 さと実  
村上 信乃  
安 永 裕

## 【フルート】

大坂 かおり  
木村 眞諭紀  
佐藤 洋行

## 【オーボエ】

二村 直子  
本間 広樹

## 【クラリネット】

時田 雄  
松村 由美子

## 【ファゴット】

伊吹 直子  
遠藤 由紀子  
金坂 哲斉  
菅 原 斉

## 【ホルン】

近藤 利昭  
潮見 恵子  
嶋村 恒夫  
林田 朋子  
藤井 茂司  
山内 正晴

## 【トランペット(ステージ)】

安藤 宣明  
伊豫田 望  
武井 出  
田崎 真二

## 【トランペット(バンド)】

伊木 雅紀  
生沼 正博  
作山 智志  
牧山 聡志

## 【トロンボーン】

新井 恵美  
坂田 圭人  
佐野 義人

## 【チューバ】

渡邊 鉄雅

## 【打楽器】

都筑 裕裕  
時田 裕

# 春のうたごえ合唱団

## ソプラノ

赤羽 歌子	浦辺 泰子	児玉 由美	瀧口三津子	中西 双葉	松本 芳枝
秋山 安恵	大川 尚代	五月女和子	田中真理子	中根 裕美	鞠子 和子
東 孝子	大塚 包子	酒井 玄枝	長 信子	中野 洋子	矢澤喜代子
石黒 淳子	大村 節江	澁谷由美子	塚本 佳子	中村 佳子	山内 企代
板倉 光	春日井敏子	清水 節子	鶴岡 房江	西井 玲子	山崎美和子
井手 章子	金原すみれ	下之園紀代子	徳永かよ子	秦 美知子	山中 祥子
井手 理絵	河内 絹代	杉江 キヤ	飛田 豊子	福嶋 裕子	吉井 正子
井料 京子	川俣 直子	鈴木 恵子	内藤 恭子	福田 美佳	
岩崎佳代子	菊地 諄子	鈴木 幸子	中澤 冬里	古田 陽子	
上津 寛子	熊谷 利子	高橋かよ子	中島 広子	正木奈々絵	

## アルト

安斎 美篠	宇野 法子	熊谷ハッ子	高橋みどり	中村 慶子	村瀬 春恵
五十嵐敏子	海野 真弓	小山オミツ	立花小枝子	南光 圭子	山津 純子
池田 尚子	大森 米子	斉藤 礼子	立原 未緒	牧野真奈美	吉田 光子
石井 和美	加藤 敏子	坂上 紀代	田所美佐子	町田 恵子	米本 良子
石川 襟子	金井 恵子	佐藤 玲子	田中 眞帆	松本八重子	和田 則子
石橋里恵子	金子まち子	島田マサ子	千葉和佳子	丸川 園子	渡邊 悦子
伊藤 和子	川口 智未	諏佐 香子	徳永 慶子	湊本 典子	渡邊左江子
犬丸 良子	北川さかえ	須藤 紀子	戸澤 澄子	宮内 保子	
上田 憲枝	久保 曜子	関谷 真澄	内藤富士子	村内 潮	

## テノール

石井 久一	小野百登子	宍倉 皓	藤山 泰彦	東谷 義敬
稲田 道憲	金子 肇	篠田 要衛	中川 保典	藤井謹之介
浦岡 秀明	木村 劬	鈴木 司郎	中澤 一紀	細野 武夫
大場 和秋	櫛田 憲司	丹内 寛	中島 裕行	松田 哲夫
岡村喜久男	久米 英廣	筒井 康光	中村 義信	村瀬 徹

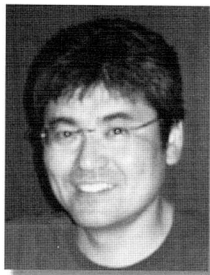
## バス

阿部 晃	河内 智男	武田 信夫	樋垣 真吾	渡辺 隆雄
井原 安彦	木村 宣夫	谷口 四郎	樋口 進	
上垣 晃	小島 義視	常松 文彦	古田 友弘	
上津 孝夫	杉田 仁	徳永 雅彦	古畑 功	
加賀谷 一	高橋 卓也	中島 雄一	丸川 宗平	

## 合唱指導

た な か や す し げ  
**田中安茂**

1981年千葉大学教育学部音楽科卒業。声楽を山本敬、宮野モモ子、合唱指揮法を栗山文昭、指揮法を高階正光の各氏に師事。現在南行徳中学校に勤務。(同中学校にて開校時に合唱部を設立。)1994年NHK学校音楽コンクール全国大会金賞、全日本合唱コンクール全国大会3年連続金賞。以後毎年各コンクールにて上位の成績を受賞。昨年度は、高松市で開催された全日本合唱コンクール全国大会にて銀賞受賞。また(財)市川市文化振興財団主催のヘンデル「メサイア」、ブラームス「ドイツレクイエム」、ベートーベン「第九」の合唱指揮者として活躍。一方、全国各地の音楽講習会、レコーディング等合唱指揮者として幅広い活動を行っている。南行徳中学校合唱部顧問、合唱団ノア・市川男声合唱団の常任指揮者。"21世紀の合唱を考える会 合唱人集団「音楽樹」会員。



## ピアニスト

い わ な で と も こ  
**岩撫智子**

東京音楽大学ピアノ演奏家コース卒業。東京コンセルヴァトアール尚美ディプロマコース卒業。二期会オペラスタジオピアニスト。日本フィルハーモニー協会合唱団・市川男声合唱団・船橋混声合唱団・若葉女声合唱団などのピアニストを務める。主に声楽、合唱の伴奏のほか音楽教材の録音活動も行っている。東京国際芸術協会会員。



## ヴォイストレーナー

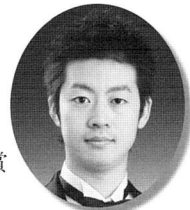
**斉藤智恵美**

市川市文化振興財団第20回  
新人演奏会声楽部門優秀賞受賞



**菅谷公博**

市川市文化振興財団第21回  
新人演奏会声楽部門優秀賞受賞



## パートリーダー

ソプラノ  
**井手理絵**



ソプラノ  
**西井玲子**



アルト  
**斉藤礼子**



アルト  
**坂上紀代**



テノール  
**石井久一**



テノール  
**篠田要衛**



バス  
**樋垣真吾**



バス  
**古畑 功**



## 春のうたごえ合唱団

団長  
**高橋卓也**



副団長  
**酒井玄枝**



事務局  
**中島広子**



## 春のうたごえ実行委員会

市川市合唱連盟 (近藤明子・酒井玄枝・中島広子・須田節子)  
市川交響楽団協会 (横田行雄・桑村益夫・時田 雄・立田祥子)  
(財)市川市文化振興財団